

今月の言葉：

自分の不完全さを自覚する

キキョウ
従順

人は誰しも不完全な存在です。

他人と比べて「自分はだめだ」と落ち込んだり、足りないものばかりが気になったりすることもあるでしょう。

自分の過ちを素直に認めることができず、誰かを恨んだり、ねたんだりすることもあるかもしれません。

しかし、そうした自分の弱い面を自覚していればこそ、他人の失敗を許したり、心の痛みを思いやったりできる面もあるのではないのでしょうか。相手を一方的に責めるのではなく、お互いに許し合い、補い合い、励まし合って、共に成長していきたいものです。

事件ファイル No. 221

車両保険について

8/13 に発生した千葉県豪雨被害に対し、高市総理は 8/27 に激甚災害（本激）に指定されました。千葉市内だけでも 2,500 台の車両が被災する前例のない災害であり、今回は車両保険について簡潔にまとめてみました。

◆自動車保険と車両保険の違い

- ・自動車保険：事故を起こした相手への損害を補償する保険「対人賠償保険」「対物賠償保険」
どちらも無制限が望ましい

- ・車両保険：事故等による自分の車への損害を補償

◆車両保険加入率 全体の普及率 47.4%

- ・自家用普通自動車 約 64% ・軽自動車 約 50%
- ・二輪車 約 2.6%

◆車両保険を付けない理由

- ・保険料が高くなるため：車両保険を追加すると、保険料が 1.5 倍から 2 倍近くに跳ね上がることがある
- ・使って等級が下がるのを避けるため：少額の修理だと保険を使うとかえって良く年以降の保険料が高くなる「逆転現象」が起ころうため
- ・車の時価が低いため：初度登録から数年経った中古車の場合、全損になっても十分な保険料が下りないため

◆車両保険をかけた方が良いケース

- ・新車やローンが残っている車：全損時に高額な修理代やローンだけが残るリスクを防ぐ
- ・日常的に車を使う：通勤や生活で車が不可欠な場合、使えなくなった時の買い替え費用に備えられる
- ・貯蓄が少ない：万が一の事故や水害などの自然災害で、まとまった自己資金をすぐに用意できない場合
- ・車両の市場販売価格が高い場合：車両保険で支払われる保険金額の上限額は、市場販売価格相当額をもとに決まるため

◆車両保険をかけなくても良いケース

- ・古く時価が少ない車：古い車は保険金が少なく、修理費をカバーしきれないことがある
- ・十分な貯蓄がある：自費で車の修理や買い替えができる場合
- ・保険料を抑えたい：毎月の固定費を下げたい場合。なお、補償を限定した「限定型」や「免責金額（自己負担額）を高くする」ことで保険料を抑える方法もある 免責金額は、0・5・7・10・15・20 万円の設定が可能。

今月の良い話

訓示「愚痴をやめよ」

出光佐三さんの人生は、文字通り波瀾万丈だったわけですが、一番の逆境は私の知る限りではまず起業してそれを軌道に乗せるまでだと思いますね。

創業期は事業がなかなかうまくいかず、従業員に給料を払えず、日田重太郎にもらった資金は見る間に目減りして、何度か自殺まで考えたという話が残っています。

その後、満州に活路を見出した後も、石油を独占しようとする軍部との軋轢（あつれき）が続いて苦労の連続なのですが、敗戦後の苦労も筆舌に尽くしがたいものがありました。

敗戦の二日後、出光さんが従業員を集めて語った「玉音を拝して」と題する訓示は、一人の日本人として魂が震えずにはいられません。

「終戦の詔勅（しょうちょく）」を何度も拝読した後、出光さんは東銀座の本社に集まった約百人の従業員を前に三つのことを話します。

- 一 愚痴をやめよ
- 二 世界無比の三千年の歴史を見なおせ
- 三 そして、いまから建設にかかれ



実在の出光佐三と日田重太郎



冒頭の「愚痴をやめよ」という言葉に社員の間で動揺が走ったと言われます。

「気が触れたか」と心配する役員もいました。

日本人が誰しも絶望の真っ只中にあるこの時に、このような言葉は言えるものではありません。

しかし、訓示はそれだけに止まりませんでした。

出光さんは、

「困難に打ちひしがれるよりも日本人が保持する比類なき三千年の歴史を見つめ直し、自信を取り戻してどん底から這い上がる原動力にせよ、明日からではなくいまから建設にかかれ」

と力強く呼びかけるんです。

きっと出光さんは敗戦というどん底でも怯むことなく将来を見越してこの訓示を語ったのでしょうが、まさに生涯で一番のハイライトだと思います。

出光さんの残された言葉に

「順境において悲観し、逆境において樂觀せよ」

「努めて難関を歩め」

とありますが、まさに出光さんの実感だったのでしょうか。



今月の良い話

強豪校の強さの秘訣

ホントに一からですね。

54年には異動の内示が出ていて、理事長から「(和歌山の練習を) 遠くから見ておけ」と言われていたので、月に1回くらい練習を見に来ていました。

結構いい選手がいたから「これなら楽しみやな」と思っていたのですが、翌年来たらみんな辞めていた。僕の指導が厳しいと聞いて「そんなのが来たら殺されるで」と(笑)。

2、3人残っていた選手に「もう1回、呼んでこい!」と言って、15、6人が集まったかな。そこからスタートです。とにかく大変だったですよ。僕が和歌山に来た前年の54年というのは和歌山県立箕島高校が春、夏の甲子園を連破した年なんです。

一方、自分のところはキャッチボールもまともにできない。体力づくりのトレーニングをやったら、みんな10分間でへたってしまう。

いやあ、えらいところに来たな。

これは甲子園に出るのに20年かかるなと思いました(笑)。

実際は丸6年でした。20年かかるところをなんとか短縮しようと2つ方法を考えたんです。

一つは「教えるよりも感じさせる」ということ。このくらいのレベルの選手にいくら技術を教えても消化吸収できないだろう、それなら自分の肌で感じさせたほうが早いなと思ったんです。

要は強いところとゲームをやって、こてんぱんにやられれば、何かを感じるだろうと。

高嶋 仁 智辯和歌山高校 元野球部監督

ところが県内の強い高校はどこも相手をしてくれない。「智辯といたら奈良やろう。和歌山にもあるの?」という返事だね。

「覚えとけよ、何年かしてうちが強くなった時に練習試合を申し込んできても断ったるからな」という気持ちです。それで和歌山の学校は諦めて、奈良の頃に付き合いのあった四国の学校に電話をしました。

まず徳島の強豪・池田高校の蔦監督に電話をしたら「すぐに来い」と。

でも、練習試合をしたら案の定ボロ負けです。もうね、30何点とられるんですよ(笑)。和歌山に帰ってくるまで3時間くらいかかるんですが、何人かは途中で悔し泣きしていました。

「なんで同じ高校生でこんなんなるねん?」と。その姿を見た時に、「あっ、これで甲子園は行けるな」と思いました。

ボロボロに負けて帰ってきた次の日にミーティングをしたんです。

そこで「ホームランを打つにはこういうトレーニングが必要や」

「速いボールを打つにはこういうトレーニングをせなあかで」と話すと、あとは放っておいても自主的にやり始める。

悔しさを覚えると自分で走り出すものなんです。するとグーンと伸びてくる。

それで1か月たった頃にまた練習試合をやる、今度は取られても10何点です。

それでうちも何点か取るから差が縮まってくる。

それから1か月練習してまた試合をすると、今度はいい試合になる。

2か月ほどでチームはがらっと変わりました。下手とか上手よりも、いかに心の部分が大切かということですね。

記事提供； 致知出版社

プロ太の小話集 No. 221

生もの

太郎「なあ、入院してるおばあちゃんにお見舞い何をもって行こうか？」

二郎「うーん、なんか食べ物にするか？寿司かなんか」

太郎「寿司？おいしい、病人に寿司はないだろう。寿司は・・・」

二郎「なんでだよ？別におばあちゃん、寿司嫌いでもないだろう？」

太郎「馬鹿だなあ、寿司は生ものだからだめなんだよ」

二郎「なんで生ものはだめなんだよ？」

太郎「長くはもたないからだよ」



還暦を迎えてから、この先を見越すようになったのか様々なことにチャレンジしています。

まずはずっと憧れていた大型バイク免許の取得。

1年間あご髭を生やしてみたり、損保代理店を始めるため損保募集人の資格も取りました。

これはノルマ達成に結構難儀しました。

さらには日本の伝統芸能の一つである和太鼓の練習も月2回通っています。

ロータリーでは、ロータリー財団を学ぶべく、地区の財団委員会に所属して活動しています。

3月の決算が終わった後に税理士の先生から、社長はドンぶり勘定だとの指摘をいただき、奮起して千葉東法人会が毎年安価で主催されている簿記講座に2ヵ月間通い、無事3級の検定試験に合格することができました。

新しい知識や資格を取得すると、違った角度から物事を捉えられるようになり、仕事にも大いに役立っていると感じます。

これからも自分が経験していない新しいことに色々とチャレンジし続けて行きたいと思います。

団体
企業
応援



加盟団体

RID2770 川口モーニングロータリークラブ

NPO法人 さいたま起業家協議会

公益社団法人 千葉東法人会

公益財団法人 モラロジー道德教育財団

<https://kawaguchi-morning.jp/>

<https://saitama-kk.org/>

<https://www.chibahojin.jp/>

<https://www.moralogy.jp>

事業所

商号 株式会社ケイプロ

屋号 都市防犯プランニング社

本社 埼玉県蕨市中央1-7-1シティタワー蕨

千葉支店 千葉県千葉市中央区新町1-20江澤ビル

<https://k-puro.co.jp/>

mail info@k-puro.co.jp

TEL 048-446-9445

TEL 043-243-6110

業務内容

機械警備事業 弊社のセキュリティプランにセコム・ALSOK の大手警備会社のインフラを使用

防犯カメラ事業 周辺環境・建物構造・人的要因等を加味し用途に沿ったカメラ選別と適位置へ設置

損害保険事業 セコム損害保険の代理店としてお客様に最適なプランをご提案